

成果指標				
成果指標	口座払＋別途払件数／支出命令証憑総件数			
指標設定の考え方	指定した支払日に確実に振り込まれる。窓口払を極力なくす方向で各課への移行を促すことにより、支払事務の省力化が見込まれる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標26年度
目標	95.6%	95.7%	95.6%	0
実績	95.6%	95%		0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	昨年度に比べ窓口払いの件数が増加し、成果指標の実績が低下している。しかしながら、その原因は新システムに変更したことにより、件数等の集計方法の違いから出たものと考えられる。来年度の成果指数との比較が重要となってくる。今後、口座払いを推進することにより、現金等の受取等にかかる事務負担の軽減と安全性のため、担当課との連携を取り、理解を得る必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	今年度は、1団体約800件の口座払いを推進することができ、現金の受取にかかる事務負担の軽減と安全性の確保ができた。今後は、担当課と連携を取り、各種総会等で口座振替の理解を得るよう広報を行うことを検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題